

法人会ニュース

そうそう

第 13 号

発行所  
相馬市中村字椽ヶ丘71  
(社) 相 双 法 人 会  
発行人  
酒 井 利 治  
編集  
広 報 委 員 会  
発行日  
平成12年8月1日

支部自慢コーナー

⑬ 相 馬

# ” 出陣 “ 相馬野馬追



毎号の表紙は、各支部の自慢の風景・祭り・ながめ等載せご紹介します。



相馬、原町、双葉郡に至る旧相馬藩領(二市六町一村)挙げて開催される国の重要無形民俗文化財「相馬野馬追」は、戦国時代のその昔から一千余年の歴史を誇る日本を代表する伝統文化行事であります。毎年、7月23・24・25日の3日間、600余騎の甲冑騎馬武者が出場し勇壮華麗にして豪華絢爛に繰り上げられる戦国時代絵巻。「相馬野馬追」は『世界一の馬の祭典』ともいわれています。

# 第25回 通常総会開催

第25回通常総会は、去る5月24日(水)、原町市の第一イン原町に於いて、会員一三〇余名の出席のもと開催された。

高野副会長が開会をし、酒井会長のあいさつ、来賓の紹介があり次に永年役員功労者、優良經理担当者、会員増強功労者、会員増強功労支部の表彰が行われ、表彰状と記念品が一人ひとりに会長から手渡された。

続いて、相馬税務署高橋秋男署長、福島県法人会連合会菅野謙一専務理事が、ご来賓のご祝辞を述べられた。

次に議事に入り、酒井会長が議長となって進行された。平成11年度の事業報告並びに収支決算報告があり、次に新年度の事業計画(案)と予算(案)が審議され、特に重点施策の組織の拡充と強化については会員加入率60%達成を目標に役員一丸となって取り組む方向で、決議された。

また、役員補充では、2名の新役員と副会長・常任理事も新



しく選任。全議案が原案どおり可決承認され、飯館の高橋副会長の閉会の辞で総会は無事終了した。

引き続き、会場を別室に移し、来賓を交えて懇親会が和やかに催され、会員相互の親睦と交流をより一層深めた。

## 役員の新補充選任

役職	支部名	氏名	会社名	前役員
副会長	新地	角田義正	角田建設(株)	常任理事
常任理事	〃	荒一夫	新和工業(株)	理事
理事	〃	小賀坂廣征	(株)小賀坂組	(就任)
副会長	鹿島	竹林源綱	竹林建設工業(株)	常任理事
常任理事	〃	若盛孝之	(有)若盛商店	理事
理事	〃	渡部忠直	東北サッシ工業(株)	(就任)

## 平成12年度表彰者

### 1. 役員表彰

(敬称略)

菅野 萬正  
関本 甫征

### 2. 会員増強功労者表彰

鹿島支部 渡部 悦孝  
双葉支部 松本 定雄

### 3. 会員増強功労支部表彰

双葉支部 富岡支部  
相馬支部 富岡支部

### 4. 優良經理担当者表彰

加藤 仁子(有) 泉屋  
塩 京子(有) 尾形自動車  
由利 真代(株) マルゼン  
高橋 京子(株) マルゼン  
新地支部  
小野 久美子(有) 小野鉄工所  
鹿島支部  
梅田 里美(株) ホンダセンターウスタ  
原町支部  
吉田 高子(株) 相馬クボタ  
小林 亜由美(株) タカワ精密  
松本 富雄(有) 松岡工務店  
飯館支部  
渡辺 栄千子(有) 福相建設



会員増強功労支部表彰・役員功労者表彰  
鹿島支部 渡部悦孝氏(ご長男安洋さん)

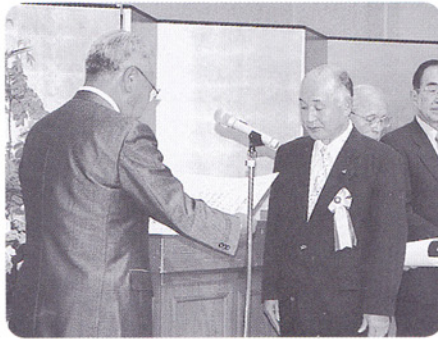
5. 功労者表彰

渡部悦孝  
渡部昭三



会員増強功労支部表彰  
石川富岡支部長

- 小高支部 滝川博栄 (有)小高プロパン
- 浪江支部 志賀さとみ (有)理美容浪江軒
- 葉貫ミカ (株)大友
- 金澤良成 (東北工業建設(株))
- 双葉支部 笠原真紀子 (有)笠原電気工業所
- 大熊支部 河村としえ (河村建設(株))
- 富岡支部 遠藤芳子 (有)ワタナベ電気工業所
- 渡辺茂子 (株)東組



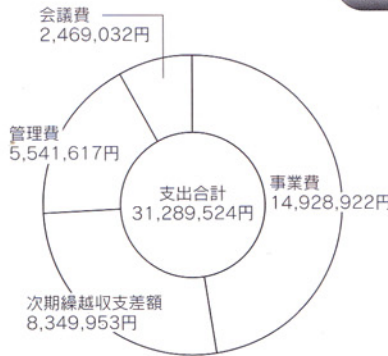
全国法人会総連合功労者表彰  
松本定雄氏 県連総会にて

- 7. 福島県法人会連合会表彰  
・ 単体会役員表彰  
藤沢徳義
- ・ 法人会(がん・介護保険制度)推進表彰  
社団法人 相双法人会

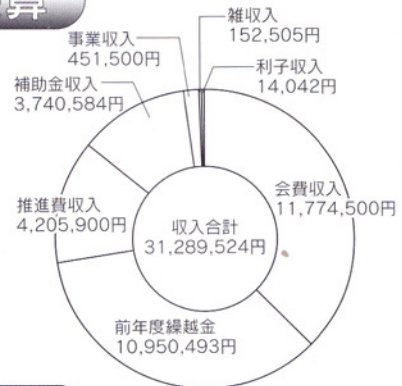


優良経理担当者表彰  
(有)ワタナベ電気工業所 遠藤さん

平成11年度決算

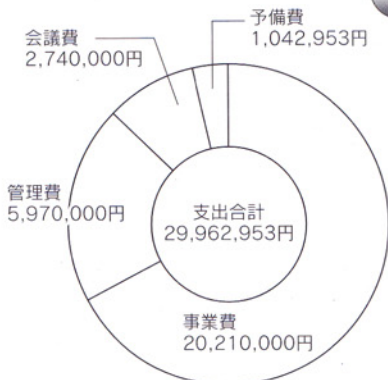


【支出の部】

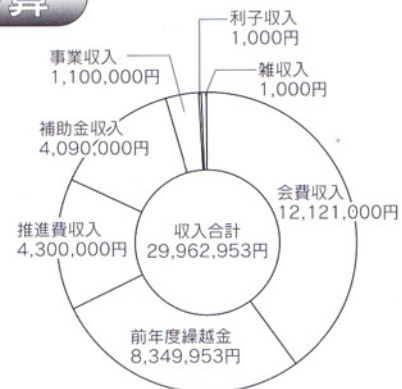


【収入の部】

平成12年度予算



【支出の部】



【収入の部】

# 支部だより

## 馬部 第二十五回(社)相双法人会 相馬支部定時総会開催

平成十二年六月二日、光陽会館で会員四十八名出席のもと、第二十五回の定時総会が開催されました。桜井支部長の挨拶に始まり、来賓に(社)相双法人会長、相馬税務署高橋署長、東北税理士会相馬支部秋保支部長、大同生命保険原町営業所井上所長のご祝辞が述べられました。

議事に入り十一年度事業報告、収支決算承認、十二年度事業計画(案)、収支予算(案)承認が原案通り採択されました。

昨年度の事業として、経済講演会と相馬港のシンポジウムが特筆されます。いずれもこれからの相馬地域開発について、提言をなされたものであります。

一方、本年度の事業計画としては、ゴルフ大会の開催、会員の親睦視察研修の実施があります。又組織率向上の為、会員増強の運動を展開して行きたいと考えております。

総会終了後来賓を囲み懇親会を開催し、夜遅くまで酒宴を営みました。

## 地部 第8回 通常総会

5月22日 新地町釣師海の海浜荘にて、会員38名出席のもと総会が開催された。

開会にさきたちよくなられた渡部支部長にたいし黙祷をささげられ荒副支部長の開会の挨拶で開会、角田支部長代理より組織の強化を図るため会員増強運動を本年度の重点目標に税制改正の講演会開催、記帳指導会開催、さらに会員相互の親睦を図る事業にも力を入れていきたいと挨拶した。

つづいて、ご来賓の挨拶、紹介、祝電披露後議案審議に入り第一号議案 平成一一年度事業報告並びに収支決算承認の件 第二号議案 平成一二年度事業計画(案)並びに収支予算(案)承認の件

※第一、二号議案原案通り承認 第三号議案 欠員に伴う役員補充の件

次の通り選任された

支部長 角田 義正

副支部長 (角田建設(株))  
小賀坂 広 征  
(株)小賀坂組  
理事 渡部 清 昭

## 鹿島支部 鹿島支部総会開催

鹿島支部の総会は、五月十七日(水)に鹿島町商工会館で開催された。来賓として、鹿島町助役や商工会長、相馬税務署より菅原法人課税統括官をお迎えした。

ご来賓の方々のご祝辞の後議題に入り、平成十二年度事業計画として「先進企業視察研修」「行政との懇談会」「会員福利厚生事業」の実施を決定した。



又、三月に渡部悦孝前支部長が急逝された為、新支部長として竹林源綱氏を選出し、副支部長他若干の役員改選を行った。

総会終了後、本年度の事業実施に先立ち、(社)相馬郡医師会相馬地域産業保険センターの飯崎氏より「医師による無料健康診断制度」の説明会を開催し、参加された会員からも好評であった。

## 町部 通常総会 講演会開催

平成12年度原町支部通常総会を平成12年5月19日(金)、「ニューさいとう」に於いて開催、提出議案の全てが承認された。

11年度事業としては、会員の皆様がより出席しやすい事業として、税務、経営の講演会を3回開催した。テーマと講師は次のとおりである。

- 一、「再生・街の顔」 河北新報社 田中 昭氏
- 二、「テレビの中から見える社会」 ニュースキャスター 露木 茂氏
- 三、「ここがポイント事業承継と相続」

大同生命保険 亀澤正視氏  
本年度事業としても、講演会・勉強会を主としながら、より

魅力ある会として、未加入法人への加入促進を積極的にはかかっていくこととなった。総会終了後、来賓としてご臨席を頂いた、相馬税務署、法人税第一部門統括官 菅原勝四郎氏より「新企業会計基準の考え方と税務環境の変化について」というテーマで講演を願いました。難しい内容ではありましたが、理路整然とお話し頂き、出席者からも「良かった」という声を聞くことができ、主催者として意をよくしつづつ講演会を終了することができました。



### 飯館支部

#### 第6回通常総会開催

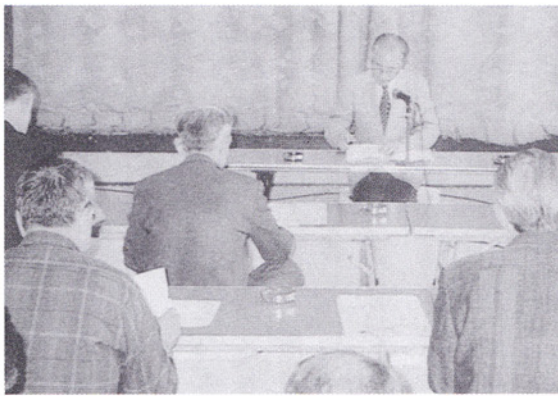
5月17日午後3時から飯館村宿泊体験館「きこり」において、飯館支部第6回通常総会が開催されました。支部会員38名中、22会員が出席し、盛会のうちに終了しました。総会に先立ち、相馬税務署菅原統括官を講師に招き、法人税関係のお話を予定時間を延長するまで詳しく説明していただきました。その後、総会に入りスムーズに議事が進行し、原案どおり可決されました。引き続き懇親会が開かれ、出席した会員さんたちは、お互いの情報交換をしながら親睦を深めました。



### 高小支部

#### 第25回 小高支部通常総会

平成12年6月5日、小高町長をはじめ来賓ご出席のもと第25回(社)相双法人会小高支部通常総会を開催いたしました。会員出席者が14名と残念ではありましたが、12年度の事業計画の審議でも未加入事業所の加入促進と会員の多くが参加できる事業を企画実施することで可決決定し、会の充実強化を図ることとした。総会終了後の懇親会では、支部長のキーボード演奏でおおいに盛り上がりしました。



### 浪江支部

#### 視察研修の実施

浪江支部の視察研修は平成12年3月26日27日の2日間、日和田ショッピングモールのフェスタ並びに栃木県ツインリンクもてぎにて、22名の参加者で実施した。



初日は、ショッピングモールフェスタを視察研修し、ハートピル法(高齢者、身体障害者等が円滑に使用できる特定建築物の促進に関する法律)に基づいた店舗設計について研修し、翌日は日本初のオーバルコースである

ツインリンクもてぎにて研修を行い、取締役支配人日高光夫氏より講演を戴き、経営戦略、コースの概要、並びに茂木町に負担にならないよう、ゴミ・水・騒音・交通渋滞等環境対策を重視した経営方針である旨説明を戴いた後、ホンダコレクションホールを見学させて戴き、ホンダの創業時から現代までの450台あまりの車両を目の前にしホンダのモータースポーツの歴史と情熱を感じる事ができ、2日間、参加者一同今後の自社の経営に大いに参考となる研修であった。

**葉部 双支**

**双葉支部平成12年度 総会について**  
 双葉支部長 松本定雄

去る5月22日(月)午後6時、信州そばで定時総会を開催しました。出席者は28名。来賓として相馬税務署より法人課税第一部門統括官菅原さん・大同生命保険原町営業所所長の井上さんのご臨席を戴きました。議事はすべてスムーズに満場一致で承認を受け約30分で閉会となりました。引き続き税務署の菅原さんによる講演「平成12年度税制改正と税務環境の変化について」

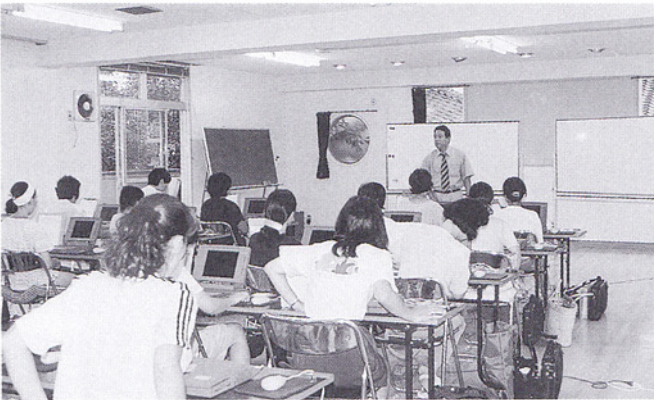
という演題で貴重なお話しを約30分位お聞きし、大同生命の井上さんからも法人会の福利厚生制度の目玉とも言うべき経営者大型保障保険の概略について説明があり、続いて大懇親会となりました。同じ狭い町内にありながら、なかなかお互いにお会いできない方も多く、話しに花が咲き絶好の会員交流の場となりました。

さて、よく会員増強で各社を訪問しますと「メリットはあるのか？」と質問されますが私はメリットは自らが創るもの、進んで入会し自ら積極的に学び各種事業に参加をし会員間の交流を深めることが大事だと考えます。必ずメリットは後からついてきます。法人会はよき経営者をめざすものの団体として、現在厳しい経営環境の中、益々発展していくことを希望します。



**岡支 富支**

富岡支部の総会は去る5月23日(火)「ウエディングプラザとりふじ」にて第25回通常総会を開催致しました。相馬税務署法人課税第一部門統括国税調査官菅原勝四郎様にご祝辞をいただき、そのあと、事業報告、決算、事業計画、予算案を満場一致で可決承認しました。特に昨年6月10日には役員研修会で東京電力



広野火力発電所を見学し、火力発電所の現状と将来について学びました。また9月にはパソコンに関する講習会を開き、二〇〇〇年問題について学び、11月には基本操作の講習会を開きました。本年12年度もパソコン講習会、税法についての研修会、税務広報、親睦のためのゴルフ大会、忘年会、法人会強化のため未加入法人の加入促進、大型保証制度の推進、青年部、女性部の育成などの計画を確認しました。そのあと統括調査官菅原勝四郎様の講演会「平成12年度税制改正と税務環境の変化について」というテーマで行いました。①有価証券の評価法②パソコン減税③時価会計④使用者が役員又は使用人に貸付した金銭の利息相当額の評価のしかたなど、大まかに覚えて、必要時税理士さんに聞くと便利です。と教えていただきました。富岡支部は今年もがんばります。



# 部会だより

## 青年部会



青年部会長  
半谷嘉津彦

皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、全国青年の集い「福島大会」が十月二十七日に「郡山ビッグパレット」において開催されます。約二千名強の会員が参集する一大イベントです。相双支部はかねてよりご案内しておりますが、物産展を担当しています。現在県内各支部に出席を要請しているところです。全国に向けて「福島県」そして、「相双」を多くにPRしていくつもりです。

又、本会、県連より補助金をいただいで社会貢献事業の一環として作成しておりますタウン誌「相双見聞録」が七月十五日に発刊の運びとなりました。相双の情報を深く広く掲載しております。



ますのでお出かけの際には役立つものと思えます。会員はもとより地域の皆様のご協力があつてのことと深く感謝いたします。

尚、「全国大会」においても全国の各支部、ご来賓の方々に配布する予定です。物産共々、「相双」を少しでも知ってもらう機会だと思えます。

又、六月三十日、本会会長、相馬税務署長、統括官を来賓にお迎えして総会を開催いたしました。「全国大会」への参加、「税務」に関する講習等を本年度の事業目標とし、会員のより一層の親睦、団結を確認しました。

## 女性部会



女性部会副部長  
椎谷 節子

平成十二年度の総会が六月十九日、原町市ロイヤルホテル丸屋にて開かれました。

渋谷部会長が体調を崩され、本総会に於いて、残任期間(一年)を副部会長の椎谷が代行する事になりました。温和で信頼の厚い渋谷部会長とまではいきませんが、会員の皆様に助けていただき、務めさせて戴きますので、よろしくお願いいたします。

十一年度は、税務署から講師をお招きし、五月と十一月に例年通り講演会を開催いたしました。特に新しい試みとし十二月に役員研修会、そして二月には、フリーアナウンサー今野東氏による新春特別講演会を原町商工会議所婦人会の共催を得て開催し、大変好評でした。本年度も相双管内商工関係女性団体の協力のもとに、八月、上床敬子氏を招き講演会を開催いたします。又法人会全国青年の集い「福島大

会」が開かれる十月には多数参加する事を決めました。多くの研修機会を設定し自分を磨き、女性としての立場から、社会貢献できることを目的とする、本会の基本に沿い、活動してゆきたいと考えております。



# 新 税 務 署 長 ご あ い さ つ



相馬税務署長 菊地 岩彦

相馬税務署長の菊地でございます。高橋前署長同様、よろしくお願いいたします。

相馬税務署での勤務は初めてでございますが、相双地区は人情味があり、法人会活動も盛んで税に対する関心も非常に高いと伺っておりますので、総会等で皆様にお会いできる日を今から楽しみにしております。

さて、法人会活動におきましては、会員のニーズを的確に把握して企業経営に役立つ情報を提供するなど、法人会加入のメリットを会員が十分に感じられるように、地域に密着した支部活動を従来以上に活発化し、できるだけ多くの会員が法人会活動に参加するような諸施策を幅広く実施されることが必要ではないかと考えております。

私の在任中は、できるだけ当地のすばらしい特色を発見し、法人会活動が益々発展するよう心掛けたいと思っております。

ところで、税務署では調査が大きな柱になっておりますが、ほかに税金に関する相談や広報も積極的に行って開かれた税務署を目指しておりますので、遠慮なくご利用ください。

私どもは適正公平な課税に向けて、誠心誠意努力して参ります。

皆様の暖かいご理解とご協力をお願いしまして、着任のごあいさつといたします。



## 相馬税務署職員異動のお知らせ

平成12年7月10日発令

お世話になります				お世話になりました	
部 門	官 職	氏 名	前 任 署	氏 名	発 令 事 項
	署 長	菊地 岩彦	局・徴収部 徴収課長	高橋 秋男	局・調査査察部 査察管理課長
総 務	総務課長	和田 博雄	大船渡・総務課長	鈴木清一郎	仙台北・法人特官
個人一	統括官	菅野 寛	局・課税一部 料調一課主査	小野 英助	会津若松・個人一統括官
法人一	統括官	栗田 啓二	白 河・法人統括官	菅原勝四郎	大河原・法人一統括官



# はじめまして



大同生命保険相互会社  
原町営業所長

井上 諭

はじめまして、青森市より異動で相双地区にお世話になることになりました。北海道生まれの北海道育ち、北国の生活に慣れており、暑く感じている毎日です。よろしくお願い致します。

さて、金融・保険業界は日本版ビッグバンが進行する中、業務提携等の動きが活発化し、かつてないほどの変革期を迎えています。このような激動の時代の中、大同生命はお客さまから信頼され、選ばれる会社であり続けるために取り組んでいます。具体的には、金融六社との間で機能本位の幅広い業務提携である「ファイナンシャルワン」。また、太陽生命と将来的な保険持株会社構想を前提として、「T&D保険グループ」の名称で全面的な業務提携を行い新しい金融サービスの提供を開始するところです。

このような背景は従来、見ることができませんでしたが、今後変わらないのは、法人会会員の皆様のご協力、ご支援をいただき、また、会員の皆様へのより充実したサービスの提供、大型総合保障制度の更なる普及、推進を行うことと思っております。営業所推進員十二名と共に選んでいただけの会社であり続けることを第一目標として、皆様のご期待、ご信頼にお応えすべく活動していく所存でございますので、ご支援のほど、よろしくお願ひ申し上げます。



## 「相双見聞録」ついに発刊 “好評発売中”

青年部会、物産委員会が中心となり、2年間がかりで取材・編集を進めてきた、相双地区タウン情報誌「相双見聞録」が、7月中旬、完成し、発刊しました。

本誌には、レジャー・グルメ・物産・歴史と四つのテーマに分け、相双地区内の各情報が満載されております。他地区にも劣らないレジャースポット。味へのこだわり。そして歴史といま一度、我々の地元“相双地区”を見つめ直す絶好のチャンスをおこの一冊から始めてみませんか！

尚、地元PR誌としてもぜひ役立てたい一冊である。

本誌への問い合わせは、事務局まで 0244-36-5754





中村神社境内で執り行なわれる出陣式

## 野馬追はこうして始まった…

野馬追は、旧相馬藩の行政区であった「郷」によって構成されます。領内の三妙見に供奉する郷は、中村神社に供奉する宇多郷・北郷、太田神社に供奉する中ノ郷、小高神社に供奉する小高郷・標葉郷の五つに分かれます。(山中郷もあったが現在はない)。毎年ほぼ梅雨明けと同時期の7月23日～25日の3日間に繰り広げられる「相馬野馬追祭」。そ

の起源は、一〇六〇年以上前にさかのぼります。平将門が、関東八州の武将を集めて下総国で行った軍事訓練(野馬を放して、その馬を敵に見立てての訓練)がその源だと言われています。その軍事訓練が相馬でも行われるようになったのは、一三三二三年に相馬重胤が小高に移住した時点で、その訓練も再開したからと伝えられています。

## 《宇多郷(相馬)》

藩主つまり総大将自ら率いるのが宇多郷です。7月23日朝、宇多郷の騎馬武者は、中村神社に終結します。そして、総大将をお迎えして、出陣式が執り行われます。宇多郷の見どころは、何と言ってもここでしょう。

総大将は、基本的に藩主の子孫が務めます。現在は三十三代和胤公、もしくはその名代として嫡男行胤君が務めています。総大将は、赤いほろと三本扇を装着しますが、この三本扇は藩主直系の者にのみ許されているものです(御一門の場合には三日月短冊)。出陣式、そして続いて行われる総大将の閲兵式は、文字どおり野馬追のスタート。特に中村神社での出陣式は、厳粛な雰囲気、必見の価値があります。市街地を回る「お練り出し」を経て、北郷陣屋で北郷勢と合流します。

前日の22日には安全を祈願する前夜祭が行われます。場所はもちろん中村神社。宵まつりでは、戦士も陣形を取って鉄砲・槍組・弓組・騎馬を揃えて戦法の駆引きを再現する「総大将お野馬追戦陣改め」が行われます。

## 編集後記

暑い毎日です。総会が終り、野馬追、そして夏祭り、大変おもしろい中、原稿を書いていただき、ありがとうございます。『ボイステ』されないで役立つように、編集委員一同努力いたします。▲整理整頓がうまくいかない、何か良い方法はないものかと、辰巳渚、著「捨てる！」技術の本を手に入れる。「とりあえず、とっておく」これがいけないのだと、捨てるむずかしさ、しみじみ感じる。▲「法人会に入っていると会社を訪れると、「何かいいことあるの」と一番先に言葉が返ってくる。ふと自分をふり返り、①いろんな人と出会いがあったなあ、②勉強することで前向きな節税が少してきたかな、③税務署さんに気軽に聞けるよ、④勉強している税理士さんと、そうでない税理士さんの区別が少しかないかな、など、要は会社のためにも社会のためにも役立つ。▲暑さに負けず、皆様の御健康を心からお祈り申し上げます。